

科目区分	情報系列						
科目名	WebプログラミングAI/WebプログラミングIA						
担当教員	古家 伸一					科目ナンバ-	Z42050
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	JavaScriptを用いたウェブ (web) プログラミングの入門						
授業の概要	この授業では、ブラウザ上で動作するJavaScriptを用いて、クライアントサイドでのウェブプログラミングについて学習します。スクリプト言語であるJavaScriptはウェブページ中に配置・記述され、ウェブページ内のオブジェクトを操作します。そのため、ウェブページを構成する言語であるHTML (HyperText Markup Language) やCSS (Cascading Style Sheets) もある程度理解している必要があることから、まずはこれら二つの言語を簡単に復習した後、JavaScriptによるクライアントサイドでのウェブプログラミングの基本を習得します。						
到達目標	(1) JavaScriptを含むウェブページのソースを読み、その動作を説明できる。【汎用的技能】 (2) 簡単なJavaScriptを記述したウェブページを作成できる。【汎用的技能】 (3) クライアントサイドプログラミングに対する興味を意識することができる。【態度・志向性】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明ならびにパソコン等情報機器を用いた実習方法についての説明 第2回：WWW (World Wide Web) のしくみと著作権 第3回：HTMLとCSS、JavaScriptの関係と分業化 第4回：HTMLの要素、CSSのボックスやプロパティの確認 第5回：型、変数、関数、引数、命名規則、イベント 第6回：オブジェクト、メソッド、プロパティ、DOM (Document Object Model) 第7回：算術演算子、代入演算子、比較演算子 第8回：論理演算子と制御文 第9回：画像オブジェクト 第10回：イベントとイベントハンドラ、this演算子 第11回：イベントオブジェクト 第12回：MATHオブジェクト 第13回：文字列オブジェクトと文字列の操作 第14回：スタイルの取得と設定 第15回：DATEオブジェクトとタイマー</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習 (準備学習の内容・時間)	<p>インターネット上には、本講義を学習していくうえでお手本となるウェブページがたくさんあります。授業外の時間にインターネット上のウェブページを見る場合であっても、ブラウザで単にウェブページを眺めて情報を収集するだけではなく、そのウェブページのデザイン、表示方法や動き等についても興味を持ち、気になるウェブページがあれば、そのソースを読んで実現方法を検討・学習してください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させる。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行してパソコン等の情報機器を使ってその具体的な表現や動作を自らで確認する実習を行います。また、受講生がJavaScriptのソースを考えて入力し、指示された表現や動作を実現するウェブページを作成します。						
評価基準と評価方法	<p>講義を通して作成したウェブページの表現や動作状況、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、作成したウェブページが50% (到達目標の(1)と(2)の確認)、平常点が50% (到達目標の(1)~(3)の確認) です。</p> <p>なお、(ウェブデザイン実務士の資格取得に関連して) 受講生の作品は、評価の時期に合わせて1~2ヶ月ほど学内ネットワーク上で公開します。</p>						
履修上の注意	<p>WebリテラシーA・Bの履修者またはHTMLおよびCSSを理解している学生を対象としています。</p> <p>授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成するようにしてください。</p> <p>なお、2019年度以前入学生は、ウェブデザイン実務士の資格を得る (認定されている一部の学科が対象) ためには100点満点で70点以上の評価点が必要になります。注意してください。</p>						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	WebプログラミングAI/WebプログラミングIB						
担当教員	古家 伸一					科目ナンバ-	Z42060
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	JavaScriptを用いたウェブ (web) プログラミングの応用						
授業の概要	この授業では、WebプログラミングAI/IAで学習したことを踏まえて、より具体的にクライアントサイドでのウェブプログラミングについて学習します。HTMLだけでは静的なウェブページを、JavaScriptを用いることで動的なウェブページにしたり、簡単なゲームを作成したりすることでプログラミングの考え方を習得します。さらに、HTMLの最新仕様であるHTML5ではJavaScriptの記述を前提にした要素が新たに追加されたことから、その利用についても習得します。						
到達目標	(1) JavaScriptを含むウェブページのソースを読み、その動作を説明できる。【汎用的技能】 (2) JavaScriptを記述したウェブページを作成できる。【汎用的技能】 (3) クライアントサイドプログラミングに対する興味をより具体的なものとして意識することができる。【態度・志向性】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明ならびにパソコン等情報機器を用いた実習方法についての説明 第2回：配列、連想配列、ブラウザ情報の取得 第3回：フォームの操作 (1) フォームの構成要素の特定 第4回：フォームの操作 (2) イベントの利用 第5回：フォームの操作 (3) フォームの構成要素の操作 第6回：フォームの操作 (4) 入力内容のチェック 第7回：ウェブページ上の描画 (1) 基本 第8回：ウェブページ上の描画 (2) 線と塗り 第9回：ウェブページ上の描画 (3) 文字 第10回：ウェブページ上の描画 (4) 写真 第11回：簡単なカードゲームの作成 (1) 基本構成 第12回：簡単なカードゲームの作成 (2) プログラミング 第13回：簡単なカードゲームの作成 (3) 動作検証 (デバッグ) 第14回：非同期通信の利用 (1) 基本 第15回：非同期通信の利用 (2) 実行</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習 (準備学習の内容・時間)	<p>インターネット上には、本講義を学習していくうえでお手本となるウェブページがたくさんあります。授業外の時間にインターネット上のウェブページを見る場合であっても、ブラウザで単にウェブページを眺めて情報を収集するだけでなく、そのウェブページのデザイン、表示方法や動き等についても興味を持ち、気になるウェブページがあれば、そのソースを読んで実現方法を検討・学習してください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させる。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行してパソコン等の情報機器を使ってその具体的な表現や動作を自らで確認する実習を行います。また、受講生がJavaScriptのソースを覚えて入力し、指示された表現や動作を実現するウェブページを作成します。						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したウェブページの表現や動作状況、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、作成したウェブページが50% (到達目標の(1)と(2)の確認)、平常点が50% (到達目標の(1)~(3)の確認) です。なお、(ウェブデザイン実務士の資格取得に関連して) 受講生の作品は、評価の時期に合わせて1~2ヶ月ほど学内ネットワーク上で公開します。						
履修上の注意	WebプログラミングAI/IAの履修者、またはそれに相当する学生を対象としています。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイル作成するようにしてください。なお、2019年度以前入学生は、ウェブデザイン実務士の資格を得る (認定されている一部の学科が対象) ためには100点満点で70点以上の評価点が必要になります。注意してください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	WebプログラミングBI/WebプログラミングIIA						
担当教員	稲澤 弘志					科目ナンバ-	Z42070
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	PHPによるWebプログラミング（基礎）						
授業の概要	この授業では、PHPと呼ばれているプログラミング言語を使用し、クライアントとWebサーバの間でデータのやり取りを行うWebページの作成方法を学習します。授業では、最初PHPで使われる命令の使い方やプログラムの書き方などを学習し、その後、クライアントとWebサーバ間で情報交換ができるような簡単なプログラム作成を行います。						
到達目標	(1) PHPで処理した結果をWebページで表示できる簡単なプログラムが作成できる。【汎用的技術】 (2) クライアントとWebサーバ間で情報交換を行う簡単なWebページが作成できる。【汎用的技能】 (3) Webページを用いた双方向型の情報発信技術に対する興味を具体的なものとして意識できる。【態度・志向性】						
授業計画	<p>第1回：授業ガイダンス 第2回：PHPの動作環境と動作方法 第3回：PHPプログラムの書き方 第4回：変数・定数とヒアドキュメント 第5回：配列変数・連想配列変数と演算子 第6回：制御文ー条件判断文と繰り返し文1 第7回：制御文ー繰り返し文2 第8回：提出課題1 第9回：制御文ー多岐分岐文 第10回：関数 第11回：クライアント・サーバ間のデータ送受信ー基本 第12回：クライアント・サーバ間のデータ送受信ー応用 第13回：クライアント・サーバ間のデータ送受信ーショッピング用Webページ 第14回：提出課題2 第15回：クライアント・サーバ間のデータ送受信ー資料請求Webページ</p> <p>なお、この授業には授業を補助・支援するため、情報教育センタースタッフの毎時間配置を予定しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>○授業前準備学習 この授業専用にて設けてある「クラスのWebページ」にアクセスし、講義資料として公開されている資料や教材を用いて予習学習を行ってください。〈学習時間：1時間〉</p> <p>○授業後学習 「クラスのWebページ」の講義資料で公開されている資料や教材を用いて授業で行った作業内容を確認してください。〈学習時間：1時間〉</p>						
授業方法	(1) 講義と実習の形式で実施し、授業中に教員が説明・指示した作業をその都度行ってもらいます (2) この授業専用にて設けてある「クラスのWebページ」を用いて出席登録、授業の資料や教材の提供を行います (3) 受講生との通信手段としてはmanabaの個別指導コレクションを用います						
評価基準と評価方法	提出物、平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)、(2)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)、(2)、(3)の確認）です。						
履修上の注意	(1) Webリテラシー I・IIあるいはWebリテラシーA・Bの履修者、またはHTMLを用いて簡単なWebページが作れる学生を対象とします (2) 授業を欠席した場合は、次回の授業までにクラスのWebページにアクセスして欠席した授業の内容を自習しておいてください (3) 受講生が作成したPHPプログラムによるWebページは、ユーザー認証付きでインターネットに公開されます						
教科書	教科書は使用しません。教材はクラスのWebページ によって提供します。						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	WebプログラミングBI / WebプログラミングII B						
担当教員	稲澤 弘志					科目ナンバ-	242080
学期	後期 / 2nd semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	PHPによるWebプログラミング (応用)						
授業の概要	この授業では、WebプログラミングBIまたはWebプログラミングII Aで学習したことを踏まえて、実用的なWebプログラミングの方法を学習します。主な内容は、文字列処理、クライアントとWebサーバ間での情報交換の際に必要なユーザー認証の方法や認証を使ったWebページの作成、またクッキーやセッションなどによるユーザー管理、さらにファイル操作などです。最終的には、クラスと呼ばれている機能を用いたオブジェクト指向プログラミングの学習を行います。なお、プログラミングにはPHPと呼ばれる言語を使用します。						
到達目標	(1) PHPで処理した結果をWebページで表示できる実用的なプログラムが作成できる。【汎用的技術】 (2) クライアントとWebサーバ間で情報交換を行う実用的なWebページが作成できる。【汎用的技能】 (3) Webページを用いた双方向型の情報発信技術に対する興味を具体的なものとして意識できる。【態度・志向性】						
授業計画	<p>第1回：授業ガイダンス 第2回：クライアントとサーバ間でのデータ送受信 (復習) - 生年月日の曜日計算 第3回：文字列処理と正規表現 第4回：ユーザー認証 - Basic認証と暗号化処理 第5回：ユーザー管理 - クッキーとセッション管理1 第6回：ユーザー管理 - セッション管理2 第7回：ユーザー管理 - ショッピング用Webページ 第8回：提出課題1 第9回：ファイル操作 - 基本操作 第10回：ファイル操作 - データファイルへの読み込みと書き込み 第11回：ファイル操作 - ファイルアップロード 第12回：クラスの基本操作 第13回：クラスの利用方法1 - メンバ・メソッド・インスタンス・コンストラクタ・デストラクタ・オーバーロード 第14回：提出課題2 第15回：クラスの利用方法2 - 継承</p> <p>なお、この授業には授業を補助・支援するため情報教育センタースタッフの毎時間配置を予定しています。</p>						
授業外における学習 (準備学習の内容・時間)	<p>○授業前準備学習 この授業専用で設けてある「クラスのWebページ」にアクセスし、講義資料として公開されている資料や教材を用いて予習学習を行ってください。〈学習時間：1時間〉</p> <p>○授業後学習 「クラスのWebページ」の講義資料で公開されている資料や教材を用いて授業で行った作業内容を確認してください。〈学習時間：1時間〉</p>						
授業方法	(1) 講義と実習の形式で実施し、授業中に教員が説明・指示した作業をその都度行ってもらいます (2) この授業専用で設けてある「クラスのWebページ」を用いて出席登録、授業の資料や教材の提供を行います (3) 受講生との通信手段としてはmanabaの個別指導コレクションを用います						
評価基準と評価方法	提出物、平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45% (到達目標の(1)、(2)の確認)、平常点が55% (到達目標の(1)、(2)、(3)の確認) です。						
履修上の注意	(1) WebプログラミングBIあるいはWebプログラミングII Aの履修者、またはPHPを用いて基本的なプログラムを作る学生を対象とします (2) 授業を欠席した場合は、次回の授業までにクラスのWebページにアクセスして欠席した授業の内容を自習しておいてください (3) 受講生が作成したPHPプログラムによるWebページは、原則的にユーザー認証付きでインターネットに公開されます						
教科書	教科書は使用しません。教材はクラスのWebページによって提供します。						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	WebリテラシーI/WebリテラシーA						
担当教員	奥村 紀之					科目ナンバ-	Z41030
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ウェブ (Web) による情報発信 (基礎)						
授業の概要	インターネットを流れる情報のほとんどはウェブに関連したアクセスと言われるほど、ウェブは広く一般に利用され、我々の生活を便利なものに行っている反面、使い方を誤るとコンピュータウイルスやスパイウェアの侵入などさまざまな社会問題を引き起こしています。そこで、この授業ではウェブの基本的な仕組みを理解したうえでウェブとの付き合い方を考えると共に、ウェブを用いて情報を発信するのに必要な言語であるHTML (HyperText Markup Language) とCSS (Cascading Style Sheets) について学習します。						
到達目標	(1) 基本的なウェブページのHTMLやCSSのソースを読み、その内容が説明できる。【汎用的技能】 (2) HTMLやCSSを用いて基本的なウェブページを作成できる。【汎用的技能】 (3) ウェブページ作成によりウェブプログラミング技術に対する興味を具体的なものとして意識できる。【態度・志向性】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明ならびにパソコン等情報機器を用いた実習方法についての説明 第2回：WWW (World Wide Web) のしくみ 第3回：ウェブページの基本構成、HTMLとCSSの関係と分業化 第4回：ベースとなるスタイルシートの作成 第5回：ボックスと単位、色の設定 第6回：リンク、文字に関するプロパティ 第7回：セレクタ、クラス 第8回：リスト構造 (1) リストの構成 第9回：リスト構造 (2) リストに関するプロパティ #1 第10回：リスト構造 (3) リストに関するプロパティ #2 第11回：画像の表示と配置、文字の回り込み 第12回：配置に関するプロパティ 第13回：表の作成 (1) 基本構造 第14回：表の作成 (2) 表現の調整 第15回：ウェブページの公開とアクセス制限</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習 (準備学習の内容・時間)	<p>インターネット上には、本講義を学習していくうえでお手本となるウェブページがたくさんあります。授業外の時間にインターネット上のウェブページを見る場合であっても、ブラウザで単にウェブページを眺めて情報を収集するだけではなく、そのウェブページのデザイン、表示方法等についても興味を持ち、気になるウェブページがあれば、そのソースを読んで実現方法を検討・学習してください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させる。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行してパソコン等の情報機器を使ってその具体的な表現を自らで確認する実習を行います。また、受講生がHTMLやCSSのソースを考えて入力し、指示された表現を実現するウェブページを作成します。						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したウェブページの表現、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、作成したウェブページが45% (到達目標の(1)と(2)の確認)、平常点が55% (到達目標の(1)~(3)の確認) です。						
履修上の注意	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	WebリテラシーI/WebリテラシーA						
担当教員	古家 伸一					科目ナンバ-	Z41030
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ウェブ (Web) による情報発信 (基礎)						
授業の概要	インターネットを流れる情報のほとんどはウェブに関連したアクセスと言われるほど、ウェブは広く一般に利用され、我々の生活を便利なものに行っている反面、使い方を誤るとコンピュータウイルスやスパイウェアの侵入などさまざまな社会問題を引き起こしています。そこで、この授業ではウェブの基本的な仕組みを理解したうえでウェブとの付き合い方を考えたと共に、ウェブを用いて情報を発信するのに必要な言語であるHTML (HyperText Markup Language) とCSS (Cascading Style Sheets) について学習します。						
到達目標	(1) 基本的なウェブページのHTMLやCSSのソースを読み、その内容が説明できる。【汎用的技能】 (2) HTMLやCSSを用いて基本的なウェブページを作成できる。【汎用的技能】 (3) ウェブページ作成によりウェブプログラミング技術に対する興味を具体的なものとして意識できる。【態度・志向性】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明ならびにパソコン等情報機器を用いた実習方法についての説明 第2回：WWW (World Wide Web) のしくみ 第3回：ウェブページの基本構成、HTMLとCSSの関係と分業化 第4回：ベースとなるスタイルシートの作成 第5回：ボックスと単位、色の設定 第6回：リンク、文字に関するプロパティ 第7回：セレクタ、クラス 第8回：リスト構造 (1) リストの構成 第9回：リスト構造 (2) リストに関するプロパティ #1 第10回：リスト構造 (3) リストに関するプロパティ #2 第11回：画像の表示と配置、文字の回り込み 第12回：配置に関するプロパティ 第13回：表の作成 (1) 基本構造 第14回：表の作成 (2) 表現の調整 第15回：ウェブページの公開とアクセス制限</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習 (準備学習の内容・時間)	<p>インターネット上には、本講義を学習していくうえでお手本となるウェブページがたくさんあります。授業外の時間にインターネット上のウェブページを見る場合であっても、ブラウザで単にウェブページを眺めて情報を収集するだけではなく、そのウェブページのデザイン、表示方法等についても興味を持ち、気になるウェブページがあれば、そのソースを読んで実現方法を検討・学習してください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させる。〈1時間〉</p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行してパソコン等の情報機器を使ってその具体的な表現を自らで確認する実習を行います。また、受講生がHTMLやCSSのソースを考えて入力し、指示された表現を実現するウェブページを作成します。						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したウェブページの表現、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、作成したウェブページが45% (到達目標の(1)と(2)の確認)、平常点が55% (到達目標の(1)~(3)の確認) です。						
履修上の注意	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	WebリテラシーII/WebリテラシーB						
担当教員	奥村 紀之					科目ナンバ-	Z41040
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ウェブ (Web) による情報発信 (応用)						
授業の概要	文字情報を表示するだけだったウェブページは、画像の表示を可能にしたことで飛躍的に発展しました。その後も様々なコンテンツを利用するためにプラグインを組み込むことで拡張してきましたが、HTMLの最新仕様であるHTML5になってAPI (Application Programming Interface) を追加・標準化したことで、より簡単に標準機能で扱えるようになりました。また、HTML5ではいくつかの新しい要素が追加される一方で、見た目を表す要素は廃止され、デザインを設定するCSSの重要度がさらに増えています。この授業ではHTMLやCSSによるウェブページ作成について学習します。						
到達目標	(1) HTML5をベースとしたウェブページのソースを読んで、その内容の説明できる。【汎用的技能】 (2) HTML5をベースとした実用的なウェブページを作成できる。【汎用的技能】 (3) ウェブページ作成によりウェブプログラミング技術がより身近なものとして意識できる。【態度・志向性】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明ならびにパソコン等情報機器を用いた実習方法についての説明 第2回：フォーム (1) ウェブサーバへのデータ送信、サーバサイドプログラミング (CGI) 第3回：フォーム (2) 一行入力フィールド 第4回：フォーム (3) ボタン、チェックボックス 第5回：フォーム (4) メニュー 第6回：フォーム (5) その他のエレメント要素 第7回：フォーム (6) アンケートの作成 第8回：メディアコンテンツ (音、映像) 第9回：イメージマップ 第10回：変形効果 第11回：アニメーション動作 第12回：ウェブページのレイアウト 第13回：canvas要素とクライアントサイドプログラミング (JavaScript) 第14回：ウェブページ上の描画 第15回：ウェブテクノロジーのまとめ</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習 (準備学習の内容・時間)	<p>インターネット上には、本講義を学習していくうえでお手本となるウェブページがたくさんあります。授業外の時間にインターネット上のウェブページを見る場合であっても、ブラウザで単にウェブページを眺めて情報を収集するだけでなく、そのウェブページのデザイン、表示方法等についても興味を持ち、気になるウェブページがあれば、そのソースを読んで実現方法を検討・学習してください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させる。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行してパソコン等の情報機器を使ってその具体的な表現を自らで確認する実習を行います。また、受講生がHTMLやCSSのソースを考えて入力し、指示された表現を実現するウェブページを作成します。						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したウェブページの表現、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、作成したウェブページが45% (到達目標の(1)と(2)の確認)、平常点が55% (到達目標の(1)~(3)の確認) です。						
履修上の注意	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	WebリテラシーII/WebリテラシーB						
担当教員	古家 伸一					科目ナンバ-	Z41040
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ウェブ (Web) による情報発信 (応用)						
授業の概要	文字情報を表示するだけだったウェブページは、画像の表示を可能にしたことで飛躍的に発展しました。その後も様々なコンテンツを利用するためにプラグインを組み込むことで拡張してきましたが、HTMLの最新仕様であるHTML5になってAPI (Application Programming Interface) を追加・標準化したことで、より簡単に標準機能で扱えるようになりました。また、HTML5ではいくつかの新しい要素が追加される一方で、見た目を表す要素は廃止され、デザインを設定するCSSの重要度がさらに増えています。この授業ではHTMLやCSSによるウェブページの作成について学習します。						
到達目標	(1) HTML5をベースとしたウェブページのソースを読んで、その内容の説明できる。【汎用的技能】 (2) HTML5をベースとした実用的なウェブページを作成できる。【汎用的技能】 (3) ウェブページ作成によりウェブプログラミング技術がより身近なものとして意識できる。【態度・志向性】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明ならびにパソコン等情報機器を用いた実習方法についての説明 第2回：フォーム (1) ウェブサーバへのデータ送信、サーバサイドプログラミング (CGI) 第3回：フォーム (2) 一行入力フィールド 第4回：フォーム (3) ボタン、チェックボックス 第5回：フォーム (4) メニュー 第6回：フォーム (5) その他のエレメント要素 第7回：フォーム (6) アンケートの作成 第8回：メディアコンテンツ (音、映像) 第9回：イメージマップ 第10回：変形効果 第11回：アニメーション動作 第12回：ウェブページのレイアウト 第13回：canvas要素とクライアントサイドプログラミング (JavaScript) 第14回：ウェブページ上の描画 第15回：ウェブテクノロジーのまとめ</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習 (準備学習の内容・時間)	<p>インターネット上には、本講義を学習していくうえでお手本となるウェブページがたくさんあります。授業外の時間にインターネット上のウェブページを見る場合であっても、ブラウザで単にウェブページを眺めて情報を収集するだけではなく、そのウェブページのデザイン、表示方法等についても興味を持ち、気になるウェブページがあれば、そのソースを読んで実現方法を検討・学習してください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させる。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行してパソコン等の情報機器を使ってその具体的な表現を自らで確認する実習を行います。また、受講生がHTMLやCSSのソースを考えて入力し、指示された表現を実現するウェブページを作成します。						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したウェブページの表現、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、作成したウェブページが45% (到達目標の(1)と(2)の確認)、平常点が55% (到達目標の(1)~(3)の確認) です。						
履修上の注意	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	コンピュータグラフィックスとアートI/コンピュータグラフィックスとアートA						
担当教員	坂田 岳彦					科目ナンバ-	Z41090
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	アートとデザイン表現の基本姿勢と技の修得						
授業の概要	Windows コンピュータを使います。代表的な文書作成ソフト「Microsoft Word」の描画機能を使って画像処理、ビジュアル表現の基礎的な力を養うことを目標としています。コンピュータによる描画、画像処理を通じて、ソフトの持つ特性、機能を学びます。アートとデザイン表現、表現の意図と発想のあり方の基礎、表現する色彩や文字とのかかわりの基本を考察します。						
到達目標	1：文書作成ソフトを使い、DTP 展開（PC による印刷物作成）への基礎を習得することができます。【汎用的技能】 2：ビジュアルプレゼンテーションに必要な基本要素を身につけることができます。【態度・志向性】						
授業計画	<p>第1回：ガイダンス、コンピュータの仕組み 第2回：図形の挿入と編集、文字の入力、クリップアートの挿入 第3回：チラシのデザイン（1）グリッドフリーのレイアウト 第4回：チラシのデザイン（2）グリッドシステムのレイアウト 第5回：チラシのデザイン（3）切り抜き写真のレイアウト 第6回：アクセスマップのデザイン 第7回：図形でイラストを描く（1）基本図形で描く 第8回：図形でイラストを描く（2）基本図形で描く 第9回：図形でイラストを描く（3）顔の表情を描く 第10回：図形でイラストを描く（4）複雑な図形で描く 第11回：図や写真の編集 第12回：絵本の表紙のデザイン 第13回：チラシのデザイン（4）オープンキャンパスのチラシ 第14回：チラシのデザイン（4）オープンキャンパスのチラシ（つづき） 第15回：全体の講評、および技法の復習</p> <p>PC 操作の補助および支援のため、TA を各回の授業に配置しています。受講者が多ければ、さらに SA を配置します。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>授業前準備学習：各回のレジュメを manaba でも配付しますので、前回までの学習内容をよく理解し、復習に努めてください。（0.5時間） 授業後学習：普段から身の回りにあるデザインを注意深く観察し、どのような表現上の工夫が見られるかを読みとるよう努めてください。（3.5時間）</p>						
授業方法	講義：Windows コンピュータを使って進めます。2回目までは基本操作の習得、3回目以降は課題制作を通してスキルアップを図ります。						
評価基準と評価方法	<p>平常点（到達目標1に関する到達度の確認）70% 提出物（到達目標2に関する到達度の確認）30% フィードバックとして、翌週の初めに全員の提出物をプロジェクタで投影しながら評価します。</p>						
履修上の注意	後期月曜の「コンピュータグラフィックスとアートII/コンピュータグラフィックスとアートB」を合わせて履修すると、さらに理解が深まります。各回のレジュメを manaba でも配付しますので、欠席者は必ず目をとっておいてください。						
教科書	毎回、レジュメを配付します。						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	コンピュータグラフィックスとアートI/コンピュータグラフィックスとアートA						
担当教員	坂田 岳彦					科目ナンバ-	Z41090
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	アートとデザイン表現の基本姿勢と技の修得						
授業の概要	Windows コンピュータを使います。代表的な文書作成ソフト「Microsoft Word」の描画機能を使って画像処理、ビジュアル表現の基礎的な力を養うことを目標としています。コンピュータによる描画、画像処理を通じて、ソフトの持つ特性、機能を学びます。アートとデザイン表現、表現の意図と発想のあり方の基礎、表現する色彩や文字とのかかわりの基本を考察します。						
到達目標	1：文書作成ソフトを使い、DTP 展開（PC による印刷物作成）への基礎を習得することができます。【汎用的技能】 2：ビジュアルプレゼンテーションに必要な基本要素を身につけることができます。【態度・志向性】						
授業計画	<p>第1回：ガイダンス、コンピュータの仕組み 第2回：図形の挿入と編集、文字の入力、クリップアートの挿入 第3回：チラシのデザイン（1）グリッドフリーのレイアウト 第4回：チラシのデザイン（2）グリッドシステムのレイアウト 第5回：チラシのデザイン（3）切り抜き写真のレイアウト 第6回：アクセスマップのデザイン 第7回：図形でイラストを描く（1）基本図形で描く 第8回：図形でイラストを描く（2）基本図形で描く 第9回：図形でイラストを描く（3）顔の表情を描く 第10回：図形でイラストを描く（4）複雑な図形で描く 第11回：図や写真の編集 第12回：絵本の表紙のデザイン 第13回：チラシのデザイン（4）オープンキャンパスのチラシ 第14回：チラシのデザイン（4）オープンキャンパスのチラシ（つづき） 第15回：全体の講評、および技法の復習</p> <p>PC 操作の補助および支援のため、TA を各回の授業に配置しています。受講者が多ければ、さらに SA を配置します。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>授業前準備学習：各回のレジュメを manaba でも配付しますので、前回までの学習内容をよく理解し、復習に努めてください。（0.5時間） 授業後学習：普段から身の回りにあるデザインを注意深く観察し、どのような表現上の工夫が見られるかを読みとるよう努めてください。（3.5時間）</p>						
授業方法	講義：Windows コンピュータを使って進めます。2回目までは基本操作の習得、3回目以降は課題制作を通してスキルアップを図ります。						
評価基準と評価方法	<p>平常点（到達目標1に関する到達度の確認）70% 提出物（到達目標2に関する到達度の確認）30% フィードバックとして、翌週の初めに全員の提出物をプロジェクタで投影しながら評価します。</p>						
履修上の注意	後期月曜の「コンピュータグラフィックスとアートII/コンピュータグラフィックスとアートB」を合わせて履修すると、さらに理解が深まります。各回のレジュメを manaba でも配付しますので、欠席者は必ず目をとっておいてください。						
教科書	毎回、レジュメを配付します。						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	コンピュータグラフィックスとアートII/コンピュータグラフィックスとアートB						
担当教員	坂田 岳彦					科目ナンバ-	Z41100
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	アートとデザイン表現のプレゼンテーション展開						
授業の概要	Windows コンピュータを使います。「コンピュータグラフィックスとアートI/コンピュータグラフィックスとアートA」で学んだ知識と技を応用して進めます。代表的な画像処理ソフト「GIMP」を使って、デジタルカメラで撮影した写真の画像処理や描画機能を学び、プレゼンテーションや書類作成への応用を目指します。						
到達目標	1：プロ仕様のグラフィックソフトを活用しながら、これらのスキルを習得することができます。【汎用的技能】 2：専門のデザイナーでなくとも、十分に効果的で魅力的なデザイン表現力を身につけることができます。【態度・志向性】						
授業計画	<p>第1回：基本トレーニング (1) 選択範囲の操作 第2回：基本トレーニング (2) 写真のレタッチ 第3回：基本トレーニング (3) レイヤーを使った加工 第4回：ペイントツールを使ってカードを作る 第5回：写真を加工してカードを作る 第6回：ロゴを作る 第7回：写真をイラスト風にする 第8回：写真を合成する 第9回：CDジャケットのデザイン 第10回：クリスマスイベントのチラシのデザイン1 第11回：クリスマスイベントのチラシのデザイン2 第12回：年賀状のデザイン 第13回：DVDジャケットのデザイン 第14回：DVDレーベルのデザイン 第15回：全体の講評、および GIMP の応用技法</p> <p>PC 操作の補助および支援のため、TA を各回の授業に配置しています。受講者が多ければ、さらに SA を配置します。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>授業前準備学習：各回のレジュメを manaba でも配付しますので、前回までの学習内容をよく理解し、復習に努めてください。(0.5時間) 授業後学習：普段から身の回りにあるデザインを注意深く観察し、どのような表現上の工夫が見られるかを読みとるよう努めてください。(3.5時間)</p>						
授業方法	講義：Windows コンピュータを使って進めます。3回目までは基本操作の習得、4回目以降は課題制作を通してスキルアップを図ります。						
評価基準と評価方法	<p>平常点（到達目標1に関する到達度の確認）70% 提出物（到達目標2に関する到達度の確認）30% フィードバックとして、翌週の初めに全員の提出物をプロジェクタで投影しながら評価します。</p>						
履修上の注意	<p>前期月曜の「コンピュータグラフィックスとアートI/コンピュータグラフィックスとアートA」を履修していることが望ましいです。 各回のレジュメを manaba でも配付しますので、欠席者は必ず目をとおしておいてください。</p>						
教科書	毎回、レジュメを配付します。						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	コンピュータグラフィックスとアートII/コンピュータグラフィックスとアートB						
担当教員	坂田 岳彦					科目ナンバ-	Z41100
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	アートとデザイン表現のプレゼンテーション展開						
授業の概要	Windows コンピュータを使います。「コンピュータグラフィックスとアートI/コンピュータグラフィックスとアートA」で学んだ知識と技を応用して進めます。代表的な画像処理ソフト「GIMP」を使って、デジタルカメラで撮影した写真の画像処理や描画機能を学び、プレゼンテーションや書類作成への応用を目指します。						
到達目標	1：プロ仕様のグラフィックソフトを活用しながら、これらのスキルを習得することができます。【汎用的技能】 2：専門のデザイナーでなくとも、十分に効果的で魅力的なデザイン表現力を身につけることができます。【態度・志向性】						
授業計画	<p>第1回：基本トレーニング (1) 選択範囲の操作 第2回：基本トレーニング (2) 写真のレタッチ 第3回：基本トレーニング (3) レイヤーを使った加工 第4回：ペイントツールを使ってカードを作る 第5回：写真を加工してカードを作る 第6回：ロゴを作る 第7回：写真をイラスト風にする 第8回：写真を合成する 第9回：CDジャケットのデザイン 第10回：クリスマスイベントのチラシのデザイン 1 第11回：クリスマスイベントのチラシのデザイン 2 第12回：年賀状のデザイン 第13回：DVDジャケットのデザイン 第14回：DVDレーベルのデザイン 第15回：全体の講評、および GIMP の応用技法</p> <p>PC 操作の補助および支援のため、TA を各回の授業に配置しています。受講者が多ければ、さらに SA を配置します。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>授業前準備学習：各回のレジュメを manaba でも配付しますので、前回までの学習内容をよく理解し、復習に努めてください。(0.5時間) 授業後学習：普段から身の回りにあるデザインを注意深く観察し、どのような表現上の工夫が見られるかを読みとるよう努めてください。(3.5時間)</p>						
授業方法	講義：Windows コンピュータを使って進めます。3回目までは基本操作の習得、4回目以降は課題制作を通してスキルアップを図ります。						
評価基準と評価方法	<p>平常点（到達目標1に関する到達度の確認）70% 提出物（到達目標2に関する到達度の確認）30% フィードバックとして、翌週の初めに全員の提出物をプロジェクタで投影しながら評価します。</p>						
履修上の注意	<p>前期月曜の「コンピュータグラフィックスとアートI/コンピュータグラフィックスとアートA」を履修していることが望ましいです。 各回のレジュメを manaba でも配付しますので、欠席者は必ず目をとおしておいてください。</p>						
教科書	毎回、レジュメを配付します。						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーI/情報リテラシーA						
担当教員	稲澤 弘志					科目ナンバ-	Z41010
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する基本的な能力を習得する。						
授業の概要	本学が提供するネットワーク上の各種サービスやICT資源を説明した後、それらを卒業までの学びで活用できるようにするための準備を、受講生が携行する情報端末（持参するノートパソコンやスマートフォン等）に対して行います。また、インターネットとセキュリティ、著作権、情報倫理について説明します。さらに、講義と実習を通して情報機器を使ったプレゼンテーションや資料作成を行う基本的なICT能力が身に付くようにし、AIやビッグデータについてもその概念を説明します。						
到達目標	(1) 受講生が持参するノートパソコンを用いて本学が提供するネットワーク上のサービスを利用し、本学での学びに活用することができる。【汎用的技能、態度・指向性】 (2) 受講生が持参するノートパソコンを使ってプレゼンテーションを行うことができる。【汎用的技能】 (3) プレゼンテーションで配布する資料を作成することができる。【汎用的技能】 (4) AIやビッグデータの概念を理解できる。【知識・理解】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明ならびに本学が提供するネットワーク上の各種サービスを受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第2回：本学が提供するICT資源を、受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第3回：プレゼンテーション技法 (1) 基本操作 第4回：プレゼンテーション技法 (2) デザインとレイアウト 第5回：プレゼンテーション技法 (3) アニメーション動作 第6回：プレゼンテーション技法 (4) 作成と実践 第7回：インターネットとセキュリティおよび情報倫理 第8回：ネットワークの活用 (1) 著作権、クリエイティブ・コモンズ 第9回：ネットワークの活用 (2) 情報収集および検索 第10回：資料の作成 (1) 図表 第11回：資料の作成 (2) グラフ 第12回：資料の作成 (3) 配置 第13回：資料の作成 (4) 計算 第14回：AI、ビッグデータとは 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらをご覧ください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々と試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を仕上げます。 <BYOD対象科目>						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。						
履修上の注意	すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーI/情報リテラシーA						
担当教員	奥村 紀之					科目ナンバ-	Z41010
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する基本的な能力を習得する。						
授業の概要	本学が提供するネットワーク上の各種サービスやICT資源を説明した後、それらを卒業までの学びで活用できるようにするための準備を、受講生が携行する情報端末（持参するノートパソコンやスマートフォン等）に対して行います。また、インターネットとセキュリティ、著作権、情報倫理について説明します。さらに、講義と実習を通して情報機器を使ったプレゼンテーションや資料作成を行う基本的なICT能力が身に付くようにし、AIやビッグデータについてもその概念を説明します。						
到達目標	(1) 受講生が持参するノートパソコンを用いて本学が提供するネットワーク上のサービスを利用し、本学での学びに活用することができる。【汎用的技能、態度・指向性】 (2) 受講生が持参するノートパソコンを使ってプレゼンテーションを行うことができる。【汎用的技能】 (3) プレゼンテーションで配布する資料を作成することができる。【汎用的技能】 (4) AIやビッグデータの概念を理解できる。【知識・理解】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明ならびに本学が提供するネットワーク上の各種サービスを受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第2回：本学が提供するICT資源を、受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第3回：プレゼンテーション技法 (1) 基本操作 第4回：プレゼンテーション技法 (2) デザインとレイアウト 第5回：プレゼンテーション技法 (3) アニメーション動作 第6回：プレゼンテーション技法 (4) 作成と実践 第7回：インターネットとセキュリティおよび情報倫理 第8回：ネットワークの活用 (1) 著作権、クリエイティブ・コモンズ 第9回：ネットワークの活用 (2) 情報収集および検索 第10回：資料の作成 (1) 図表 第11回：資料の作成 (2) グラフ 第12回：資料の作成 (3) 配置 第13回：資料の作成 (4) 計算 第14回：AI、ビッグデータとは 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらをご覧ください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々と試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を仕上げます。 <BYOD対象科目>						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。						
履修上の注意	すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーI/情報リテラシーA						
担当教員	奥村 紀之					科目ナンバ-	Z41010
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する基本的な能力を習得する。						
授業の概要	本学が提供するネットワーク上の各種サービスやICT資源を説明した後、それらを卒業までの学びで活用できるようにするための準備を、受講生が携行する情報端末（持参するノートパソコンやスマートフォン等）に対して行います。また、インターネットとセキュリティ、著作権、情報倫理について説明します。さらに、講義と実習を通して情報機器を使ったプレゼンテーションや資料作成を行う基本的なICT能力が身に付くようにし、AIやビッグデータについてもその概念を説明します。						
到達目標	(1) 受講生が持参するノートパソコンを用いて本学が提供するネットワーク上のサービスを利用し、本学での学びに活用することができる。【汎用的技能、態度・指向性】 (2) 受講生が持参するノートパソコンを使ってプレゼンテーションを行うことができる。【汎用的技能】 (3) プレゼンテーションで配布する資料を作成することができる。【汎用的技能】 (4) AIやビッグデータの概念を理解できる。【知識・理解】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明ならびに本学が提供するネットワーク上の各種サービスを受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第2回：本学が提供するICT資源を、受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第3回：プレゼンテーション技法 (1) 基本操作 第4回：プレゼンテーション技法 (2) デザインとレイアウト 第5回：プレゼンテーション技法 (3) アニメーション動作 第6回：プレゼンテーション技法 (4) 作成と実践 第7回：インターネットとセキュリティおよび情報倫理 第8回：ネットワークの活用 (1) 著作権、クリエイティブ・コモンズ 第9回：ネットワークの活用 (2) 情報収集および検索 第10回：資料の作成 (1) 図表 第11回：資料の作成 (2) グラフ 第12回：資料の作成 (3) 配置 第13回：資料の作成 (4) 計算 第14回：AI、ビッグデータとは 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらをご覧ください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を仕上げます。 <BYOD対象科目>						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。						
履修上の注意	すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーI/情報リテラシーA						
担当教員	奥村 紀之					科目ナンバ-	Z41010
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する基本的な能力を習得する。						
授業の概要	本学が提供するネットワーク上の各種サービスやICT資源を説明した後、それらを卒業までの学びで活用できるようにするための準備を、受講生が携行する情報端末（持参するノートパソコンやスマートフォン等）に対して行います。また、インターネットとセキュリティ、著作権、情報倫理について説明します。さらに、講義と実習を通して情報機器を使ったプレゼンテーションや資料作成を行う基本的なICT能力が身に付くようにし、AIやビッグデータについてもその概念を説明します。						
到達目標	(1) 受講生が持参するノートパソコンを用いて本学が提供するネットワーク上のサービスを利用し、本学での学びに活用することができる。【汎用的技能、態度・指向性】 (2) 受講生が持参するノートパソコンを使ってプレゼンテーションを行うことができる。【汎用的技能】 (3) プレゼンテーションで配布する資料を作成することができる。【汎用的技能】 (4) AIやビッグデータの概念を理解できる。【知識・理解】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明ならびに本学が提供するネットワーク上の各種サービスを受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第2回：本学が提供するICT資源を、受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第3回：プレゼンテーション技法 (1) 基本操作 第4回：プレゼンテーション技法 (2) デザインとレイアウト 第5回：プレゼンテーション技法 (3) アニメーション動作 第6回：プレゼンテーション技法 (4) 作成と実践 第7回：インターネットとセキュリティおよび情報倫理 第8回：ネットワークの活用 (1) 著作権、クリエイティブ・コモンズ 第9回：ネットワークの活用 (2) 情報収集および検索 第10回：資料の作成 (1) 図表 第11回：資料の作成 (2) グラフ 第12回：資料の作成 (3) 配置 第13回：資料の作成 (4) 計算 第14回：AI、ビッグデータとは 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらをご覧ください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々と試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を仕上げます。 <BYOD対象科目>						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。						
履修上の注意	すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介합니다。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーI/情報リテラシーA						
担当教員	奥村 紀之					科目ナンバ-	Z41010
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する基本的な能力を習得する。						
授業の概要	本学が提供するネットワーク上の各種サービスやICT資源を説明した後、それらを卒業までの学びで活用できるようにするための準備を、受講生が携行する情報端末（持参するノートパソコンやスマートフォン等）に対して行います。また、インターネットとセキュリティ、著作権、情報倫理について説明します。さらに、講義と実習を通して情報機器を使ったプレゼンテーションや資料作成を行う基本的なICT能力が身に付くようにし、AIやビッグデータについてもその概念を説明します。						
到達目標	(1) 受講生が持参するノートパソコンを用いて本学が提供するネットワーク上のサービスを利用し、本学での学びに活用することができる。【汎用的技能、態度・指向性】 (2) 受講生が持参するノートパソコンを使ってプレゼンテーションを行うことができる。【汎用的技能】 (3) プレゼンテーションで配布する資料を作成することができる。【汎用的技能】 (4) AIやビッグデータの概念を理解できる。【知識・理解】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明ならびに本学が提供するネットワーク上の各種サービスを受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第2回：本学が提供するICT資源を、受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第3回：プレゼンテーション技法 (1) 基本操作 第4回：プレゼンテーション技法 (2) デザインとレイアウト 第5回：プレゼンテーション技法 (3) アニメーション動作 第6回：プレゼンテーション技法 (4) 作成と実践 第7回：インターネットとセキュリティおよび情報倫理 第8回：ネットワークの活用 (1) 著作権、クリエイティブ・コモンズ 第9回：ネットワークの活用 (2) 情報収集および検索 第10回：資料の作成 (1) 図表 第11回：資料の作成 (2) グラフ 第12回：資料の作成 (3) 配置 第13回：資料の作成 (4) 計算 第14回：AI、ビッグデータとは 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を仕上げます。 <BYOD対象科目>						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。						
履修上の注意	すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーI/情報リテラシーA						
担当教員	奥村 紀之					科目ナンバ-	Z41010
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する基本的な能力を習得する。						
授業の概要	本学が提供するネットワーク上の各種サービスやICT資源を説明した後、それらを卒業までの学びで活用できるようにするための準備を、受講生が携行する情報端末（持参するノートパソコンやスマートフォン等）に対して行います。また、インターネットとセキュリティ、著作権、情報倫理について説明します。さらに、講義と実習を通して情報機器を使ったプレゼンテーションや資料作成を行う基本的なICT能力が身に付くようにし、AIやビッグデータについてもその概念を説明します。						
到達目標	(1) 受講生が持参するノートパソコンを用いて本学が提供するネットワーク上のサービスを利用し、本学での学びに活用することができる。【汎用的技能、態度・指向性】 (2) 受講生が持参するノートパソコンを使ってプレゼンテーションを行うことができる。【汎用的技能】 (3) プレゼンテーションで配布する資料を作成することができる。【汎用的技能】 (4) AIやビッグデータの概念を理解できる。【知識・理解】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明ならびに本学が提供するネットワーク上の各種サービスを受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第2回：本学が提供するICT資源を、受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第3回：プレゼンテーション技法 (1) 基本操作 第4回：プレゼンテーション技法 (2) デザインとレイアウト 第5回：プレゼンテーション技法 (3) アニメーション動作 第6回：プレゼンテーション技法 (4) 作成と実践 第7回：インターネットとセキュリティおよび情報倫理 第8回：ネットワークの活用 (1) 著作権、クリエイティブ・コモンズ 第9回：ネットワークの活用 (2) 情報収集および検索 第10回：資料の作成 (1) 図表 第11回：資料の作成 (2) グラフ 第12回：資料の作成 (3) 配置 第13回：資料の作成 (4) 計算 第14回：AI、ビッグデータとは 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらをご覧ください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々と試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を仕上げます。 <BYOD対象科目>						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。						
履修上の注意	すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーI/情報リテラシーA						
担当教員	片山 修					科目ナンバ-	Z41010
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する基本的な能力を習得する。						
授業の概要	本学が提供するネットワーク上の各種サービスやICT資源を説明した後、それらを卒業までの学びで活用できるようにするための準備を、受講生が携行する情報端末（持参するノートパソコンやスマートフォン等）に対して行います。また、インターネットとセキュリティ、著作権、情報倫理について説明します。さらに、講義と実習を通して情報機器を使ったプレゼンテーションや資料作成を行う基本的なICT能力が身に付くようにし、AIやビッグデータについてもその概念を説明します。						
到達目標	(1) 受講生が持参するノートパソコンを用いて本学が提供するネットワーク上のサービスを利用し、本学での学びに活用することができる。【汎用的技能、態度・指向性】 (2) 受講生が持参するノートパソコンを使ってプレゼンテーションを行うことができる。【汎用的技能】 (3) プレゼンテーションで配布する資料を作成することができる。【汎用的技能】 (4) AIやビッグデータの概念を理解できる。【知識・理解】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明ならびに本学が提供するネットワーク上の各種サービスを受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第2回：本学が提供するICT資源を、受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第3回：プレゼンテーション技法 (1) 基本操作 第4回：プレゼンテーション技法 (2) デザインとレイアウト 第5回：プレゼンテーション技法 (3) アニメーション動作 第6回：プレゼンテーション技法 (4) 作成と実践 第7回：インターネットとセキュリティおよび情報倫理 第8回：ネットワークの活用 情報検索 著作権、クリエイティブ・コモンズ 第9回：Wordの基本操作 ページの設定 画像の配置 第10回：Excelによる資料の作成 (1) 基本操作 第11回：Excelによる資料の作成 (2) 関数による集計 その1 第12回：Excelによる資料の作成 (3) 関数による集計 その2 第13回：Excelによる資料の作成 (4) 関数による集計 その3 第14回：AI、ビッグデータとは 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらをご覧ください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々と試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	<p>講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を仕上げます。</p> <p><BYOD対象科目></p>						
評価基準と評価方法	<p>講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。</p>						
履修上の注意	<p>すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。</p>						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーI/情報リテラシーA						
担当教員	片山 修					科目ナンバ-	Z41010
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する基本的な能力を習得する。						
授業の概要	本学が提供するネットワーク上の各種サービスやICT資源を説明した後、それらを卒業までの学びで活用できるようにするための準備を、受講生が携行する情報端末（持参するノートパソコンやスマートフォン等）に対して行います。また、インターネットとセキュリティ、著作権、情報倫理について説明します。さらに、講義と実習を通して情報機器を使ったプレゼンテーションや資料作成を行う基本的なICT能力が身に付くようにし、AIやビッグデータについてもその概念を説明します。						
到達目標	(1) 受講生が持参するノートパソコンを用いて本学が提供するネットワーク上のサービスを利用し、本学での学びに活用することができる。【汎用的技能、態度・指向性】 (2) 受講生が持参するノートパソコンを使ってプレゼンテーションを行うことができる。【汎用的技能】 (3) プレゼンテーションで配布する資料を作成することができる。【汎用的技能】 (4) AIやビッグデータの概念を理解できる。【知識・理解】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明ならびに本学が提供するネットワーク上の各種サービスを受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第2回：本学が提供するICT資源を、受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第3回：プレゼンテーション技法 (1) 基本操作 第4回：プレゼンテーション技法 (2) デザインとレイアウト 第5回：プレゼンテーション技法 (3) アニメーション動作 第6回：プレゼンテーション技法 (4) 作成と実践 第7回：インターネットとセキュリティおよび情報倫理 第8回：ネットワークの活用 情報検索 著作権、クリエイティブ・コモンズ 第9回：Wordの基本操作 ページの設定 画像の配置 第10回：Excelによる資料の作成 (1) 基本操作 第11回：Excelによる資料の作成 (2) 関数による集計 その1 第12回：Excelによる資料の作成 (3) 関数による集計 その2 第13回：Excelによる資料の作成 (4) 関数による集計 その3 第14回：AI、ビッグデータとは 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々と試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	<p>講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を仕上げます。</p> <p><BYOD対象科目></p>						
評価基準と評価方法	<p>講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。</p>						
履修上の注意	<p>すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。</p>						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーI/情報リテラシーA						
担当教員	住 淳一					科目ナンバ-	Z41010
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する基本的な能力を習得する。						
授業の概要	本学が提供するネットワーク上の各種サービスやICT資源を説明した後、それらを卒業までの学びで活用できるようにするための準備を、受講生が携行する情報端末（持参するノートパソコンやスマートフォン等）に対して行います。また、インターネットとセキュリティ、著作権、情報倫理について説明します。さらに、講義と実習を通して情報機器を使ったプレゼンテーションや資料作成を行う基本的なICT能力が身に付くようにし、AIやビッグデータについてもその概念を説明します。						
到達目標	(1) 受講生が持参するノートパソコンを用いて本学が提供するネットワーク上のサービスを利用し、本学での学びに活用することができる。【汎用的技能、態度・指向性】 (2) 受講生が持参するノートパソコンを使ってプレゼンテーションを行うことができる。【汎用的技能】 (3) プレゼンテーションで配布する資料を作成することができる。【汎用的技能】 (4) AIやビッグデータの概念を理解できる。【知識・理解】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明ならびに本学が提供するネットワーク上の各種サービスを受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第2回：本学が提供するICT資源を、受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第3回：プレゼンテーション技法 (1) 基本操作 第4回：プレゼンテーション技法 (2) デザインとレイアウト 第5回：プレゼンテーション技法 (3) アニメーション動作 第6回：プレゼンテーション技法 (4) 作成と実践 第7回：インターネットとセキュリティおよび情報倫理 第8回：ネットワークの活用 (1) 著作権、クリエイティブ・コモンズ 第9回：ネットワークの活用 (2) 情報収集および検索 第10回：資料の作成 (1) 図表 第11回：資料の作成 (2) グラフ 第12回：資料の作成 (3) 配置 第13回：資料の作成 (4) 計算 第14回：AI、ビッグデータとは 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらをご覧ください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々と試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	<p>講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を上げます。 <BYOD対象科目></p>						
評価基準と評価方法	<p>講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。</p>						
履修上の注意	<p>すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。</p>						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーI/情報リテラシーA						
担当教員	住 淳一					科目ナンバ-	Z41010
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する基本的な能力を習得する。						
授業の概要	本学が提供するネットワーク上の各種サービスやICT資源を説明した後、それらを卒業までの学びで活用できるようにするための準備を、受講生が携行する情報端末（持参するノートパソコンやスマートフォン等）に対して行います。また、インターネットとセキュリティ、著作権、情報倫理について説明します。さらに、講義と実習を通して情報機器を使ったプレゼンテーションや資料作成を行う基本的なICT能力が身に付くようにし、AIやビッグデータについてもその概念を説明します。						
到達目標	(1) 受講生が持参するノートパソコンを用いて本学が提供するネットワーク上のサービスを利用し、本学での学びに活用することができる。【汎用的技能、態度・指向性】 (2) 受講生が持参するノートパソコンを使ってプレゼンテーションを行うことができる。【汎用的技能】 (3) プレゼンテーションで配布する資料を作成することができる。【汎用的技能】 (4) AIやビッグデータの概念を理解できる。【知識・理解】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明ならびに本学が提供するネットワーク上の各種サービスを受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第2回：本学が提供するICT資源を、受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第3回：プレゼンテーション技法 (1) 基本操作 第4回：プレゼンテーション技法 (2) デザインとレイアウト 第5回：プレゼンテーション技法 (3) アニメーション動作 第6回：プレゼンテーション技法 (4) 作成と実践 第7回：インターネットとセキュリティおよび情報倫理 第8回：ネットワークの活用 (1) 著作権、クリエイティブ・コモンズ 第9回：ネットワークの活用 (2) 情報収集および検索 第10回：資料の作成 (1) 図表 第11回：資料の作成 (2) グラフ 第12回：資料の作成 (3) 配置 第13回：資料の作成 (4) 計算 第14回：AI、ビッグデータとは 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらをご覧ください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々と試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を上げます。 <BYOD対象科目>						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。						
履修上の注意	すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーI/情報リテラシーA						
担当教員	古家 伸一					科目ナンバ-	Z41010
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する基本的な能力を習得する。						
授業の概要	本学が提供するネットワーク上の各種サービスやICT資源を説明した後、それらを卒業までの学びで活用できるようにするための準備を、受講生が携行する情報端末（持参するノートパソコンやスマートフォン等）に対して行います。また、インターネットとセキュリティ、著作権、情報倫理について説明します。さらに、講義と実習を通して情報機器を使ったプレゼンテーションや資料作成を行う基本的なICT能力が身に付くようにし、AIやビッグデータについてもその概念を説明します。						
到達目標	(1) 受講生が持参するノートパソコンを用いて本学が提供するネットワーク上のサービスを利用し、本学での学びに活用することができる。【汎用的技能、態度・指向性】 (2) 受講生が持参するノートパソコンを使ってプレゼンテーションを行うことができる。【汎用的技能】 (3) プレゼンテーションで配布する資料を作成することができる。【汎用的技能】 (4) AIやビッグデータの概念を理解できる。【知識・理解】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明ならびに本学が提供するネットワーク上の各種サービスを受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第2回：本学が提供するICT資源を、受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第3回：プレゼンテーション技法 (1) 基本操作 第4回：プレゼンテーション技法 (2) デザインとレイアウト 第5回：プレゼンテーション技法 (3) アニメーション動作 第6回：プレゼンテーション技法 (4) 作成と実践 第7回：インターネットとセキュリティおよび情報倫理 第8回：ネットワークの活用 (1) 著作権、クリエイティブ・コモンズ 第9回：ネットワークの活用 (2) 情報収集および検索 第10回：資料の作成 (1) 図表 第11回：資料の作成 (2) グラフ 第12回：資料の作成 (3) 配置 第13回：資料の作成 (4) 計算 第14回：AI、ビッグデータとは 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらをご覧ください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々と試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	<p>講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を上げます。 <BYOD対象科目></p>						
評価基準と評価方法	<p>講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。</p>						
履修上の注意	<p>すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。</p>						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーI/情報リテラシーA						
担当教員	古家 伸一					科目ナンバ-	Z41010
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する基本的な能力を習得する。						
授業の概要	本学が提供するネットワーク上の各種サービスやICT資源を説明した後、それらを卒業までの学びで活用できるようにするための準備を、受講生が携行する情報端末（持参するノートパソコンやスマートフォン等）に対して行います。また、インターネットとセキュリティ、著作権、情報倫理について説明します。さらに、講義と実習を通して情報機器を使ったプレゼンテーションや資料作成を行う基本的なICT能力が身に付くようにし、AIやビッグデータについてもその概念を説明します。						
到達目標	(1) 受講生が持参するノートパソコンを用いて本学が提供するネットワーク上のサービスを利用し、本学での学びに活用することができる。【汎用的技能、態度・指向性】 (2) 受講生が持参するノートパソコンを使ってプレゼンテーションを行うことができる。【汎用的技能】 (3) プレゼンテーションで配布する資料を作成することができる。【汎用的技能】 (4) AIやビッグデータの概念を理解できる。【知識・理解】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明ならびに本学が提供するネットワーク上の各種サービスを受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第2回：本学が提供するICT資源を、受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第3回：プレゼンテーション技法 (1) 基本操作 第4回：プレゼンテーション技法 (2) デザインとレイアウト 第5回：プレゼンテーション技法 (3) アニメーション動作 第6回：プレゼンテーション技法 (4) 作成と実践 第7回：インターネットとセキュリティおよび情報倫理 第8回：ネットワークの活用 (1) 著作権、クリエイティブ・コモンズ 第9回：ネットワークの活用 (2) 情報収集および検索 第10回：資料の作成 (1) 図表 第11回：資料の作成 (2) グラフ 第12回：資料の作成 (3) 配置 第13回：資料の作成 (4) 計算 第14回：AI、ビッグデータとは 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらをご覧ください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々と試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	<p>講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を上げます。 <BYOD対象科目></p>						
評価基準と評価方法	<p>講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。</p>						
履修上の注意	<p>すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。</p>						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーI/情報リテラシーA						
担当教員	古家 伸一					科目ナンバ-	Z41010
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する基本的な能力を習得する。						
授業の概要	本学が提供するネットワーク上の各種サービスやICT資源を説明した後、それらを卒業までの学びで活用できるようにするための準備を、受講生が携行する情報端末（持参するノートパソコンやスマートフォン等）に対して行います。また、インターネットとセキュリティ、著作権、情報倫理について説明します。さらに、講義と実習を通して情報機器を使ったプレゼンテーションや資料作成を行う基本的なICT能力が身に付くようにし、AIやビッグデータについてもその概念を説明します。						
到達目標	(1) 受講生が持参するノートパソコンを用いて本学が提供するネットワーク上のサービスを利用し、本学での学びに活用することができる。【汎用的技能、態度・指向性】 (2) 受講生が持参するノートパソコンを使ってプレゼンテーションを行うことができる。【汎用的技能】 (3) プレゼンテーションで配布する資料を作成することができる。【汎用的技能】 (4) AIやビッグデータの概念を理解できる。【知識・理解】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明ならびに本学が提供するネットワーク上の各種サービスを受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第2回：本学が提供するICT資源を、受講生が持参したノートパソコンで利用するための準備 第3回：プレゼンテーション技法 (1) 基本操作 第4回：プレゼンテーション技法 (2) デザインとレイアウト 第5回：プレゼンテーション技法 (3) アニメーション動作 第6回：プレゼンテーション技法 (4) 作成と実践 第7回：インターネットとセキュリティおよび情報倫理 第8回：ネットワークの活用 (1) 著作権、クリエイティブ・コモンズ 第9回：ネットワークの活用 (2) 情報収集および検索 第10回：資料の作成 (1) 図表 第11回：資料の作成 (2) グラフ 第12回：資料の作成 (3) 配置 第13回：資料の作成 (4) 計算 第14回：AI、ビッグデータとは 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらをご覧ください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々と試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を上げます。 <BYOD対象科目>						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。						
履修上の注意	すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーII／情報リテラシーB						
担当教員	稲澤 弘志					科目ナンバ-	Z41020
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する能力を高める。						
授業の概要	本学における学びを進めていくうえで必要なレポートや論文の作成を、情報機器を用いて作成する際に不可欠な操作スキルを身につけます。さらに、得られた情報を情報機器を用いて整理・分類し、分析するICT能力を身につけます。また、AIやビッグデータの活用について説明します。						
到達目標	(1) 情報機器を使ってレポートや論文を体裁よく効率的に作成することができる。【汎用的技能】 (2) 情報機器を使って情報の整理・分類ならびに分析を行うことができる。【汎用的技能】 (3) 情報機器の活用に関する興味を具体的なものとして意識できる。【態度・指向性】 (4) AI、ビッグデータを活用する状況に参加できる。【態度・指向性】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明 第2回：レポートや論文の作成 (1) スタイルとアウトライン 第3回：レポートや論文の作成 (2) 番号付け 第4回：レポートや論文の作成 (3) 相互参照 第5回：レポートや論文の作成 (4) 目次とページ番号 第6回：レポートや論文の作成 (5) レイアウト 第7回：レポートや論文の作成 (6) 作成と実践 第8回：情報分析 (1) 条件付き書式 第9回：情報分析 (2) 分類 第10回：情報分析 (3) データベース 第11回：情報分析 (4) クロス集計 第12回：情報分析 (5) 統計処理 第13回：情報分析 (6) 推定 第14回：AI、ビッグデータの活用 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々と試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を仕上げます。 <BYOD対象科目>						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。						
履修上の注意	すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーII／情報リテラシーB						
担当教員	奥村 紀之					科目ナンバ-	Z41020
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する能力を高める。						
授業の概要	本学における学びを進めていくうえで必要なレポートや論文の作成を、情報機器を用いて作成する際に不可欠な操作スキルを身につけます。さらに、得られた情報を情報機器を用いて整理・分類し、分析するICT能力を身につけます。また、AIやビッグデータの活用について説明します。						
到達目標	(1) 情報機器を使ってレポートや論文を体裁よく効率的に作成することができる。【汎用的技能】 (2) 情報機器を使って情報の整理・分類ならびに分析を行うことができる。【汎用的技能】 (3) 情報機器の活用に関する興味を具体的なものとして意識できる。【態度・指向性】 (4) AI、ビッグデータを活用する状況に参加できる。【態度・指向性】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明 第2回：レポートや論文の作成 (1) スタイルとアウトライン 第3回：レポートや論文の作成 (2) 番号付け 第4回：レポートや論文の作成 (3) 相互参照 第5回：レポートや論文の作成 (4) 目次とページ番号 第6回：レポートや論文の作成 (5) レイアウト 第7回：レポートや論文の作成 (6) 作成と実践 第8回：情報分析 (1) 条件付き書式 第9回：情報分析 (2) 分類 第10回：情報分析 (3) データベース 第11回：情報分析 (4) クロス集計 第12回：情報分析 (5) 統計処理 第13回：情報分析 (6) 推定 第14回：AI、ビッグデータの活用 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々と試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	<p>講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を仕上げます。</p> <p><BYOD対象科目></p>						
評価基準と評価方法	<p>講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。</p>						
履修上の注意	<p>すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。</p>						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーII／情報リテラシーB						
担当教員	奥村 紀之					科目ナンバ-	Z41020
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する能力を高める。						
授業の概要	本学における学びを進めていくうえで必要なレポートや論文の作成を、情報機器を用いて作成する際に不可欠な操作スキルを身につけます。さらに、得られた情報を情報機器を用いて整理・分類し、分析するICT能力を身につけます。また、AIやビッグデータの活用について説明します。						
到達目標	(1) 情報機器を使ってレポートや論文を体裁よく効率的に作成することができる。【汎用的技能】 (2) 情報機器を使って情報の整理・分類ならびに分析を行うことができる。【汎用的技能】 (3) 情報機器の活用に関する興味を具体的なものとして意識できる。【態度・指向性】 (4) AI、ビッグデータを活用する状況に参加できる。【態度・指向性】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明 第2回：レポートや論文の作成 (1) スタイルとアウトライン 第3回：レポートや論文の作成 (2) 番号付け 第4回：レポートや論文の作成 (3) 相互参照 第5回：レポートや論文の作成 (4) 目次とページ番号 第6回：レポートや論文の作成 (5) レイアウト 第7回：レポートや論文の作成 (6) 作成と実践 第8回：情報分析 (1) 条件付き書式 第9回：情報分析 (2) 分類 第10回：情報分析 (3) データベース 第11回：情報分析 (4) クロス集計 第12回：情報分析 (5) 統計処理 第13回：情報分析 (6) 推定 第14回：AI、ビッグデータの活用 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々と試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	<p>講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を仕上げます。</p> <p><BYOD対象科目></p>						
評価基準と評価方法	<p>講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。</p>						
履修上の注意	<p>すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。</p>						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーII／情報リテラシーB						
担当教員	奥村 紀之					科目ナンバ-	Z41020
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する能力を高める。						
授業の概要	本学における学びを進めていくうえで必要なレポートや論文の作成を、情報機器を用いて作成する際に不可欠な操作スキルを身につけます。さらに、得られた情報を情報機器を用いて整理・分類し、分析するICT能力を身につけます。また、AIやビッグデータの活用について説明します。						
到達目標	(1) 情報機器を使ってレポートや論文を体裁よく効率的に作成することができる。【汎用的技能】 (2) 情報機器を使って情報の整理・分類ならびに分析を行うことができる。【汎用的技能】 (3) 情報機器の活用に関する興味を具体的なものとして意識できる。【態度・指向性】 (4) AI、ビッグデータを活用する状況に参加できる。【態度・指向性】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明 第2回：レポートや論文の作成 (1) スタイルとアウトライン 第3回：レポートや論文の作成 (2) 番号付け 第4回：レポートや論文の作成 (3) 相互参照 第5回：レポートや論文の作成 (4) 目次とページ番号 第6回：レポートや論文の作成 (5) レイアウト 第7回：レポートや論文の作成 (6) 作成と実践 第8回：情報分析 (1) 条件付き書式 第9回：情報分析 (2) 分類 第10回：情報分析 (3) データベース 第11回：情報分析 (4) クロス集計 第12回：情報分析 (5) 統計処理 第13回：情報分析 (6) 推定 第14回：AI、ビッグデータの活用 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々と試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を仕上げます。 <BYOD対象科目>						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。						
履修上の注意	すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーII／情報リテラシーB						
担当教員	奥村 紀之					科目ナンバ-	Z41020
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する能力を高める。						
授業の概要	本学における学びを進めていくうえで必要なレポートや論文の作成を、情報機器を用いて作成する際に不可欠な操作スキルを身につけます。さらに、得られた情報を情報機器を用いて整理・分類し、分析するICT能力を身につけます。また、AIやビッグデータの活用について説明します。						
到達目標	(1) 情報機器を使ってレポートや論文を体裁よく効率的に作成することができる。【汎用的技能】 (2) 情報機器を使って情報の整理・分類ならびに分析を行うことができる。【汎用的技能】 (3) 情報機器の活用に関する興味を具体的なものとして意識できる。【態度・指向性】 (4) AI、ビッグデータを活用する状況に参加できる。【態度・指向性】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明 第2回：レポートや論文の作成 (1) スタイルとアウトライン 第3回：レポートや論文の作成 (2) 番号付け 第4回：レポートや論文の作成 (3) 相互参照 第5回：レポートや論文の作成 (4) 目次とページ番号 第6回：レポートや論文の作成 (5) レイアウト 第7回：レポートや論文の作成 (6) 作成と実践 第8回：情報分析 (1) 条件付き書式 第9回：情報分析 (2) 分類 第10回：情報分析 (3) データベース 第11回：情報分析 (4) クロス集計 第12回：情報分析 (5) 統計処理 第13回：情報分析 (6) 推定 第14回：AI、ビッグデータの活用 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々と試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を仕上げます。 <BYOD対象科目>						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。						
履修上の注意	すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーII／情報リテラシーB						
担当教員	奥村 紀之					科目ナンバ-	Z41020
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する能力を高める。						
授業の概要	本学における学びを進めていくうえで必要なレポートや論文の作成を、情報機器を用いて作成する際に不可欠な操作スキルを身につけます。さらに、得られた情報を情報機器を用いて整理・分類し、分析するICT能力を身につけます。また、AIやビッグデータの活用について説明します。						
到達目標	(1) 情報機器を使ってレポートや論文を体裁よく効率的に作成することができる。【汎用的技能】 (2) 情報機器を使って情報の整理・分類ならびに分析を行うことができる。【汎用的技能】 (3) 情報機器の活用に関する興味を具体的なものとして意識できる。【態度・指向性】 (4) AI、ビッグデータを活用する状況に参加できる。【態度・指向性】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明 第2回：レポートや論文の作成 (1) スタイルとアウトライン 第3回：レポートや論文の作成 (2) 番号付け 第4回：レポートや論文の作成 (3) 相互参照 第5回：レポートや論文の作成 (4) 目次とページ番号 第6回：レポートや論文の作成 (5) レイアウト 第7回：レポートや論文の作成 (6) 作成と実践 第8回：情報分析 (1) 条件付き書式 第9回：情報分析 (2) 分類 第10回：情報分析 (3) データベース 第11回：情報分析 (4) クロス集計 第12回：情報分析 (5) 統計処理 第13回：情報分析 (6) 推定 第14回：AI、ビッグデータの活用 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々と試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	<p>講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を仕上げます。</p> <p><BYOD対象科目></p>						
評価基準と評価方法	<p>講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。</p>						
履修上の注意	<p>すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。</p>						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーII／情報リテラシーB						
担当教員	片山 修					科目ナンバ-	Z41020
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する能力を高める。						
授業の概要	本学における学びを進めていくうえで必要なレポートや論文の作成を、情報機器を用いて作成する際に不可欠な操作スキルを身につけます。さらに、得られた情報を情報機器を用いて整理・分類し、分析するICT能力を身につけます。また、AIやビッグデータの活用について説明します。						
到達目標	(1) 情報機器を使ってレポートや論文を体裁よく効率的に作成することができる。【汎用的技能】 (2) 情報機器を使って情報の整理・分類ならびに分析を行うことができる。【汎用的技能】 (3) 情報機器の活用に関する興味を具体的なものとして意識できる。【態度・指向性】 (4) AI、ビッグデータを活用する状況に参加できる。【態度・指向性】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明 第2回：レポートや論文の作成 (1) スタイルとアウトライン 第3回：レポートや論文の作成 (2) 番号付け 第4回：レポートや論文の作成 (3) 相互参照 第5回：レポートや論文の作成 (4) 目次とページ番号 第6回：レポートや論文の作成 (5) レイアウト 第7回：レポートや論文の作成 (6) 作成と実践 第8回：情報分析 (1) 条件付き書式 第9回：情報分析 (2) 分類 第10回：情報分析 (3) データベース 第11回：情報分析 (4) クロス集計 第12回：情報分析 (5) 統計処理 第13回：情報分析 (6) 推定 第14回：AI、ビッグデータの活用 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々と試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を仕上げます。 <BYOD対象科目>						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。						
履修上の注意	すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーII／情報リテラシーB						
担当教員	片山 修					科目ナンバ-	Z41020
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する能力を高める。						
授業の概要	本学における学びを進めていくうえで必要なレポートや論文の作成を、情報機器を用いて作成する際に不可欠な操作スキルを身につけます。さらに、得られた情報を情報機器を用いて整理・分類し、分析するICT能力を身につけます。また、AIやビッグデータの活用について説明します。						
到達目標	(1) 情報機器を使ってレポートや論文を体裁よく効率的に作成することができる。【汎用的技能】 (2) 情報機器を使って情報の整理・分類ならびに分析を行うことができる。【汎用的技能】 (3) 情報機器の活用に関する興味を具体的なものとして意識できる。【態度・指向性】 (4) AI、ビッグデータを活用する状況に参加できる。【態度・指向性】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明 第2回：レポートや論文の作成 (1) スタイルとアウトライン 第3回：レポートや論文の作成 (2) 番号付け 第4回：レポートや論文の作成 (3) 相互参照 第5回：レポートや論文の作成 (4) 目次とページ番号 第6回：レポートや論文の作成 (5) レイアウト 第7回：レポートや論文の作成 (6) 作成と実践 第8回：情報分析 (1) 条件付き書式 第9回：情報分析 (2) 分類 第10回：情報分析 (3) データベース 第11回：情報分析 (4) クロス集計 第12回：情報分析 (5) 統計処理 第13回：情報分析 (6) 推定 第14回：AI、ビッグデータの活用 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々と試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を仕上げます。 <BYOD対象科目>						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。						
履修上の注意	すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーII／情報リテラシーB						
担当教員	住 淳一					科目ナンバ-	Z41020
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する能力を高める。						
授業の概要	本学における学びを進めていくうえで必要なレポートや論文の作成を、情報機器を用いて作成する際に不可欠な操作スキルを身につけます。さらに、得られた情報を情報機器を用いて整理・分類し、分析するICT能力を身につけます。また、AIやビッグデータの活用について説明します。						
到達目標	(1) 情報機器を使ってレポートや論文を体裁よく効率的に作成することができる。【汎用的技能】 (2) 情報機器を使って情報の整理・分類ならびに分析を行うことができる。【汎用的技能】 (3) 情報機器の活用に関する興味を具体的なものとして意識できる。【態度・指向性】 (4) AI、ビッグデータを活用する状況に参加できる。【態度・指向性】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明 第2回：レポートや論文の作成 (1) スタイルとアウトライン 第3回：レポートや論文の作成 (2) 番号付け 第4回：レポートや論文の作成 (3) 相互参照 第5回：レポートや論文の作成 (4) 目次とページ番号 第6回：レポートや論文の作成 (5) レイアウト 第7回：レポートや論文の作成 (6) 作成と実践 第8回：情報分析 (1) 条件付き書式 第9回：情報分析 (2) 分類 第10回：情報分析 (3) データベース 第11回：情報分析 (4) クロス集計 第12回：情報分析 (5) 統計処理 第13回：情報分析 (6) 推定 第14回：AI、ビッグデータの活用 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々と試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。＜1時間＞</p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を仕上げます。 ＜BYOD対象科目＞						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。						
履修上の注意	すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーII／情報リテラシーB						
担当教員	住 淳一					科目ナンバ-	Z41020
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する能力を高める。						
授業の概要	本学における学びを進めていくうえで必要なレポートや論文の作成を、情報機器を用いて作成する際に不可欠な操作スキルを身につけます。さらに、得られた情報を情報機器を用いて整理・分類し、分析するICT能力を身につけます。また、AIやビッグデータの活用について説明します。						
到達目標	(1) 情報機器を使ってレポートや論文を体裁よく効率的に作成することができる。【汎用的技能】 (2) 情報機器を使って情報の整理・分類ならびに分析を行うことができる。【汎用的技能】 (3) 情報機器の活用に関する興味を具体的なものとして意識できる。【態度・指向性】 (4) AI、ビッグデータを活用する状況に参加できる。【態度・指向性】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明 第2回：レポートや論文の作成 (1) スタイルとアウトライン 第3回：レポートや論文の作成 (2) 番号付け 第4回：レポートや論文の作成 (3) 相互参照 第5回：レポートや論文の作成 (4) 目次とページ番号 第6回：レポートや論文の作成 (5) レイアウト 第7回：レポートや論文の作成 (6) 作成と実践 第8回：情報分析 (1) 条件付き書式 第9回：情報分析 (2) 分類 第10回：情報分析 (3) データベース 第11回：情報分析 (4) クロス集計 第12回：情報分析 (5) 統計処理 第13回：情報分析 (6) 推定 第14回：AI、ビッグデータの活用 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々と試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を仕上げます。 <BYOD対象科目>						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。						
履修上の注意	すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーII／情報リテラシーB						
担当教員	古家 伸一					科目ナンバ-	Z41020
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する能力を高める。						
授業の概要	本学における学びを進めていくうえで必要なレポートや論文の作成を、情報機器を用いて作成する際に不可欠な操作スキルを身につけます。さらに、得られた情報を情報機器を用いて整理・分類し、分析するICT能力を身につけます。また、AIやビッグデータの活用について説明します。						
到達目標	(1) 情報機器を使ってレポートや論文を体裁よく効率的に作成することができる。【汎用的技能】 (2) 情報機器を使って情報の整理・分類ならびに分析を行うことができる。【汎用的技能】 (3) 情報機器の活用に関する興味を具体的なものとして意識できる。【態度・指向性】 (4) AI、ビッグデータを活用する状況に参加できる。【態度・指向性】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明 第2回：レポートや論文の作成 (1) スタイルとアウトライン 第3回：レポートや論文の作成 (2) 番号付け 第4回：レポートや論文の作成 (3) 相互参照 第5回：レポートや論文の作成 (4) 目次とページ番号 第6回：レポートや論文の作成 (5) レイアウト 第7回：レポートや論文の作成 (6) 作成と実践 第8回：情報分析 (1) 条件付き書式 第9回：情報分析 (2) 分類 第10回：情報分析 (3) データベース 第11回：情報分析 (4) クロス集計 第12回：情報分析 (5) 統計処理 第13回：情報分析 (6) 推定 第14回：AI、ビッグデータの活用 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を仕上げます。 <BYOD対象科目>						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。						
履修上の注意	すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーII／情報リテラシーB						
担当教員	古家 伸一					科目ナンバ-	Z41020
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する能力を高める。						
授業の概要	本学における学びを進めていくうえで必要なレポートや論文の作成を、情報機器を用いて作成する際に不可欠な操作スキルを身につけます。さらに、得られた情報を情報機器を用いて整理・分類し、分析するICT能力を身につけます。また、AIやビッグデータの活用について説明します。						
到達目標	(1) 情報機器を使ってレポートや論文を体裁よく効率的に作成することができる。【汎用的技能】 (2) 情報機器を使って情報の整理・分類ならびに分析を行うことができる。【汎用的技能】 (3) 情報機器の活用に関する興味を具体的なものとして意識できる。【態度・指向性】 (4) AI、ビッグデータを活用する状況に参加できる。【態度・指向性】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明 第2回：レポートや論文の作成 (1) スタイルとアウトライン 第3回：レポートや論文の作成 (2) 番号付け 第4回：レポートや論文の作成 (3) 相互参照 第5回：レポートや論文の作成 (4) 目次とページ番号 第6回：レポートや論文の作成 (5) レイアウト 第7回：レポートや論文の作成 (6) 作成と実践 第8回：情報分析 (1) 条件付き書式 第9回：情報分析 (2) 分類 第10回：情報分析 (3) データベース 第11回：情報分析 (4) クロス集計 第12回：情報分析 (5) 統計処理 第13回：情報分析 (6) 推定 第14回：AI、ビッグデータの活用 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を仕上げます。 <BYOD対象科目>						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。						
履修上の注意	すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						

科目区分	情報系列						
科目名	情報リテラシーII／情報リテラシーB						
担当教員	古家 伸一					科目ナンバ-	Z41020
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ICTを使って情報を入手し、それらを利用・活用する能力を高める。						
授業の概要	本学における学びを進めていくうえで必要なレポートや論文の作成を、情報機器を用いて作成する際に不可欠な操作スキルを身につけます。さらに、得られた情報を情報機器を用いて整理・分類し、分析するICT能力を身につけます。また、AIやビッグデータの活用について説明します。						
到達目標	(1) 情報機器を使ってレポートや論文を体裁よく効率的に作成することができる。【汎用的技能】 (2) 情報機器を使って情報の整理・分類ならびに分析を行うことができる。【汎用的技能】 (3) 情報機器の活用に関する興味を具体的なものとして意識できる。【態度・指向性】 (4) AI、ビッグデータを活用する状況に参加できる。【態度・指向性】						
授業計画	<p>第1回：授業概要説明 第2回：レポートや論文の作成 (1) スタイルとアウトライン 第3回：レポートや論文の作成 (2) 番号付け 第4回：レポートや論文の作成 (3) 相互参照 第5回：レポートや論文の作成 (4) 目次とページ番号 第6回：レポートや論文の作成 (5) レイアウト 第7回：レポートや論文の作成 (6) 作成と実践 第8回：情報分析 (1) 条件付き書式 第9回：情報分析 (2) 分類 第10回：情報分析 (3) データベース 第11回：情報分析 (4) クロス集計 第12回：情報分析 (5) 統計処理 第13回：情報分析 (6) 推定 第14回：AI、ビッグデータの活用 第15回：まとめ</p> <p>※全15回で[PC必携]のこと</p> <p>なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用ウェブサイト上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。また、この授業には授業を補助・支援するため、SA/TA等を毎時間配置しています。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>本講義で習得した能力をより高めるために、授業外の時間に、習得したことを一人で実践してみたり、習得したことに関係するが授業では詳しく触れられなかった機能等について色々試してみたりしてください。</p> <p>授業後学習：講義中に行った実習の残りを次回講義までに完成させ、指示された方法で提出してください。<1時間></p>						
授業方法	講義・実習：講義スタイルで、習得する内容の説明や解説を受けながら、受講生は並行して持参したノートパソコンを使ってその具体的なスキルを身につけるための実習を行います。また、指示された問題を解決して資料を仕上げます。 <BYOD対象科目>						
評価基準と評価方法	講義を通して作成したファイル等の提出物、および平常点を用いて総合的に評価します。これらの評価項目の割合は、提出物が45%（到達目標の(1)～(4)の確認）、平常点が55%（到達目標の(1)～(4)の確認）です。						
履修上の注意	すべての授業回で受講生個人のノートパソコンを利用しますので、必ず持参のうえ受講してください。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用ウェブサイト上の説明や資料を使って欠席した授業の内容を必ず自習し、必要なファイルを作成・提出するようにしてください。						
教科書	教科書の指定はありません。授業用ウェブサイト上で必要な情報や資料を提供します。						
参考書	授業中および授業用ウェブサイトで紹介します。						